

Ohmi Net

No. 43
9・10月号

おみネット



BIWA CHAN



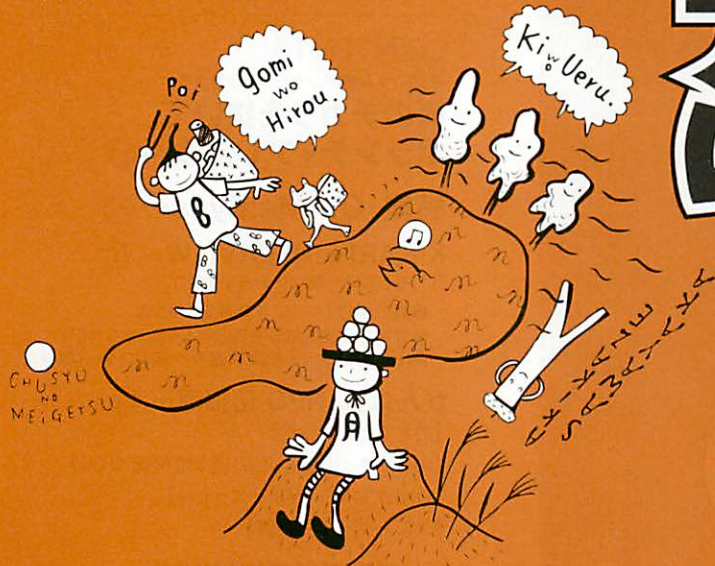
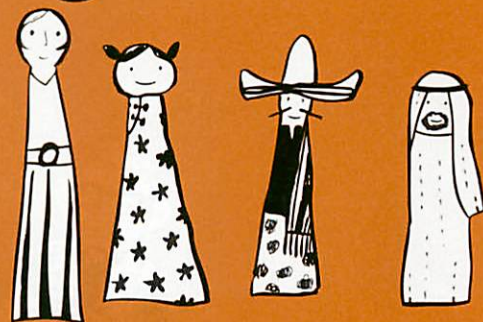
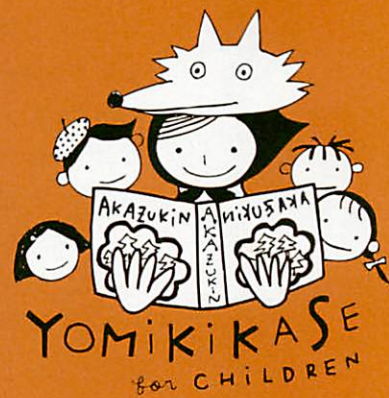
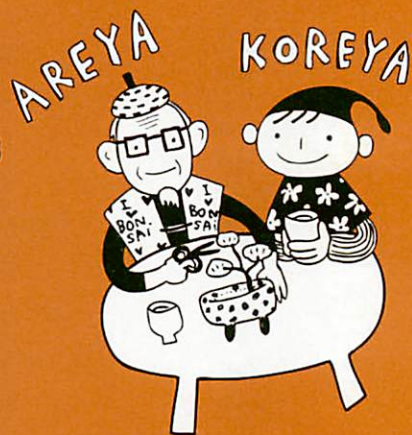
Q1.どんなボランティアなら参加してみたいですか？(複数回答)



◀◀ 中面につづく

参加したい？ どんなボランティアに

県民 159人 巻頭アンケートVOL.9



淡海ネットワークセンター

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

第三回 肩のチカラを抜いて、ボランティアしよう

木村光一（事務局スタッフ）

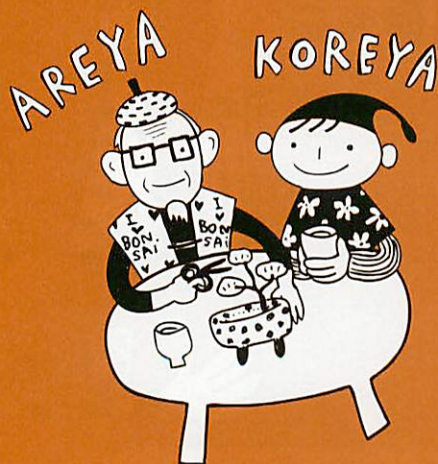
ボランティアは、「志願兵」が原義であるように自分から進んで行動するという自由性、任意性を持っている言葉である。大震災や原油流出事故のあと、奉仕活動とは異なるボランティアの行動は共感を持って理解されるようになった（はずである）。テレビを見てじっとしてられず、各地で物資を提供、整理、配送などの後方支援に関わった人も多かったのではないと思う。

解決すべき課題を見つけ、どこまで取り組むかは本来ボランティア側が決めるのだが、奉仕と捉えてしまうと行動の期待値が先に決まるように感じる。期待する度合いと実際のボランティアの活動内容に不足を感じると、ボランティアに不満がぶつけられるのはこのためだろう。

よく、期待に応えようと自分の力量以上に頑張るボランティアは、ムリを繰り返して心まで疲れてしまい、やがて第一線を離れ、二度と活動しようとしなくなると聞いたことがある。ボランティアをする側にも誤解があるのだから、特に継続した活動においては、達成すべき目的や活動内容、誰に対してどのようなボランティアが、いつどこで、どのように行うかを、プログラムできる人が必要になってくる。これが、ボランティアセンターの重要な役割として知られたのも、阪神淡路大震災であった。

この9月25、26日には、全国ボランティアフェスティバルが滋賀で開催される。ボランティアで運営に参加する機会もあるが、ボランティアの役割を個別明確にして、うまくコーディネートできる人が育つプログラムも組まれることを望みたい。地域でボランティアが頑張れるのは、この役割を担う人が不可欠だからである。

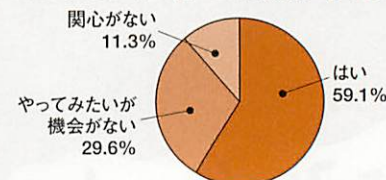
先日、「ボランティアは、したことがないです」という若いお母さんに出会った。話をするうち、近所の子供達と一緒に遊び、行事の世話もしているという。それが、ボランティアですよと言うと、とても素敵な笑顔を返してくれた。



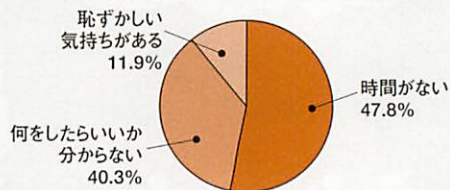
どんなボランティアなら参加したい？
県民159人巻頭アンケート結果

▶▶▶ 表紙よりつづき

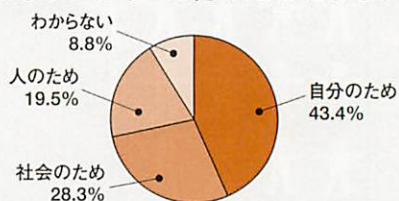
Q2.ボランティアの経験がありますか？



Q3.ボランティアを始めにくい原因は？



Q4.ボランティアは何のためにする？



Q5.ボランティアに参加しやすくするには？

- やりたい人とボランティアをしてほしい人をつなぐコーディネーターが必要。NPOや地域の公民館や学校のサークルなどで取り組んでどうか。
- もっとボランティア活動についての広報が必要。
- 家族ぐるみや友だち同士で気軽に参加できるように、楽しいイベント形式にするとういのは？
- 個人の意識改革が必要。

アンケート：携帯情報メール発信会社「j2メール」協力
県民：159名（回答数）
男性：68名 女性：78名 性別不明：13名 20代：22名
30代：65名 40代：30名 50代以上：21名 年齢不明：21名

【11月号のアンケート】
次回11月号は文化・芸術をテーマにした巻頭アンケートを実施します。読者の皆さんもぜひ、アンケートにご協力ください。詳しくは「センターインフォメーション」をご覧ください。

CONTENTS

巻頭コラム●アンケートから考える

肩のチカラを抜いて、
ボランティアしよう… ①

特集・Oh!Me!Eyes… ②

KIRARI★INTERVIEW… ⑤

私たち「きらり」輝いています！NPO

- 森の学校「やぶこぎ探検隊」（環境）
- 番場の歴史を知り明日を考える会（まちづくり）
- NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター（福祉）

がんばれ！NPO 応援団… ⑦

【めとと★コラボ】

【おうみネット講座・心の通う情報誌づくり】

【ONLY ONE リレーエッセイ】

【スローグッズ探検隊】

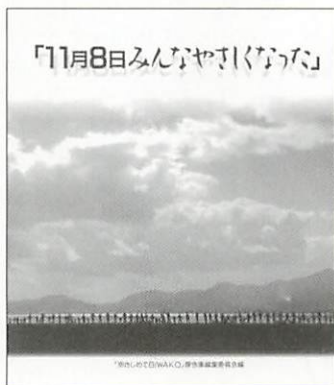
行って来て見て情報BOX

9月・10月…………… ⑨

県民イベントからの 市民活動へのきっかけづくり

一九八七年十一月八日。琵琶湖の周りに二十一人あまりの人が集まり、手をつなぎました。それが「抱きしめてBIWAKO」です。重度心身障害児施設であるびわこ学園移転費用の一部を捻出するために行われたこのイベントは、その後の様々な活動に大きな影響を与えました。

今回の「おつみネット」では、この「抱きしめてBIWAKO」に関わられた二人の方に集まっていたいただき、その魅力を探りながら、県民イベントからの市民活動へのきっかけづくりについて語っていただきました。



「抱きしめてBIWAKO」の様子をまとめた本（「抱きしめてBIWAKO」報告集編集委員会編／草風館）

●「抱きしめてBIWAKO」（以下「抱きびわ」）は、当時の湘南学園（児童養護施設）の園長であった中澤さん（※注1）が発起人と聞いていますが、皆さんが「抱きびわ」に関わられたきっかけをお聞かせ下さい。

小槻 僕は学生の時から中澤さんと友達で、それまでも彼がなんかやるというのと大体事務方の仕事をやらされていました。あの頃は自分も仕事をして

いたので一度は断ったんですが、再度依頼があり、地元の八日市でできることならというので引き受けました。また、その頃になるとマスコミなどでイベントのことを取り上げられていて「抱きびわ」はある程度ブランドになっていました。ですから、これを利用して青年団を再生できないかと考えて大風呂巻き込んだんです。大風呂まつりはもともと市の実行委員会だけでやってたのですが、われわれが勝手連的に押しかけて今のよう

大きな節目かなと思っています。成瀬 私は湖南生協で理事をしていました。生協として協力したことが「抱きしめてBIWAKO」に関わったきっかけです。当時福祉は、どちらかといえばハンデを持った人たちだけのもので、私たちとは無縁と思われた世界でした。しかし、福祉は限られた人が困っているから助けるというものではなく、自分たちのもので生活そのものなんだ、ということに気づかされました。そんな「抱きびわ」イベントがきっかけで「福祉の社会化」ということが言われ出し、そのことをきちんと自分たちのものにしな

ければいけないと思うようになりました。

中山 その頃は湘南学園（児童養護施設）で理事をしていて、ボランティアで湘南学園の喫茶店を手伝っていました。中澤さんから「抱きびわ」の話聞き、是非、協力したいと思い「抱きびわ」のイベントでお茶席を1キロに渡って持たせていただきました。ボランティアをやり始めた頃の大きなイベントで、今思うと自分自身の中では

手をつなぐだけで参加費千円も出して、多くの人が集まった「抱きびわ」の魅力はなんだ

「抱きしめてBIWAKO」に関わられた（右から）成瀬さん、小槻さん、中山さん。

「抱きしめてBIWAKO」に関わられた（右から）成瀬さん、小槻さん、中山さん。

手をつなぐだけで参加費千円も出して、多くの人が集まった「抱きびわ」の魅力はなんだ

（注1）中澤弘幸さん：「抱きしめてBIWAKO」実行委員長

活動とかイベントというのは私物化するもの。自分がやりたいことをどう普遍化するかによって活動の中味は決まってくると思います。

つたと思われませんか。

中山 身近さだと思えますね。ボランティアというと、なにか身構えて「しなければ」という印象が一般の方には強いのではないかなと思うんですね。でも、ちょっとしたいかなと思ってる方はたくさんいると思います。それが簡単にできたのが「抱きびわ」だったのではないのでしょうか。また、手をつなぐんですから一人ではない。目に見えない仲間意識みたいなものが持ってたのも良かったんだと思います。

小椋 中山さんと同じですね。「抱きびわ」の前は、市民が福祉に関わるというところかへボランティアに行ったり、何か寄付をすることでしか関われなかった。そういう意味で、本当に身近に市民も福祉に関われるんだというきっかけになったのが「抱きびわ」だと思います。「琵琶湖を抱く」という夢物語のような馬鹿馬鹿しいことでも、大勢でやったら面白いことになる。楽しくなかったらお金なんて出せないですよ。意味がないように意味があるというのが良かったんだと思いますね。

成瀬 「日本で一番大きな湖を抱く」なん

てことは一人では絶対できないことですよ。でも、たくさんの方が集まったらできるということをみんなに思わせた。また、今まで何も考えていなかった人（環境や福祉のこと）も湖を見て「うわ、きれいやな」「こゝは汚いなあ」ということ気付かされたのではないのでしょうか。そういう意味では福祉や環境において考えるようになった初めの一歩になったイベントだったと思いますね。

●「抱きびわ」後、いろいろイベントがありました。これが、これほどインパクトを与えるものがなぜ出てこないのでしょうか。

成瀬 「抱きびわ」は「びわこ学園の移転」という目的がはっきりしてましたね。そういうものが必要なかなという気がしますね。それと、いろいろな方の支えもあって成功したのですが、やはりきっかけが市民から盛り上がったイベントだったことがすごく大きいと思います。上（行政サイド）から下に拡がっていくものとはまた違うような気がします。

中山 下から湧き上がっていくためには、



PROFILE

小椋 猛さん

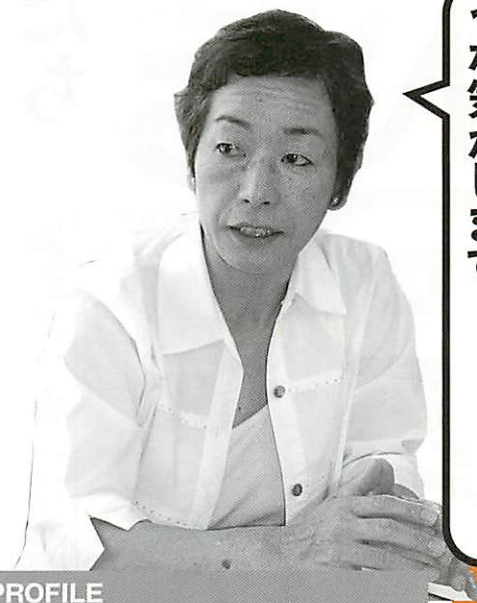
しみんふくしの家八日市理事長。地域にこだわり、八日市市で痴呆の方の居場所づくりを一つのメインテーマに、痴呆専用のデイサービスホームを開所。現在は痴呆専用のグループホームで保育も実施。小規模多機能を目指し、地域の中で地域の人が地域の人の生活を支えるという形で活動。八日市市大風まつり実行委員会委員長でもある。

カリスマ性というかエネルギーが要るじゃないですか。やはり求心的に引っ張って、夢を見させてくれる人がいないということがあるのと違いますか。だからなかなか第二の「抱きびわ」はできない。

小椋 求心力に欠けているものが多いんでしょうね。それは別に滋賀県だけでなく、いろんなイベント総じてだと思っています。「抱きびわ」は何もないところから始めた。だからいろいろなことが試行錯誤できたんだと思います。その後はベースというか逆にイメージができてしまった、という気がしますね。

●「抱きびわ」が違ったものは何でしょうか。

小椋 「市民が福祉を考えよう」というコンセプトが「抱きびわ」にはありません。一番の成果は、市民の間で福祉が進んできているということだと思います。中山 今、県内で市民活動として福祉をやっている人の中には、「抱きびわ」に関わった人が多いですよ。こうしてお話していますけど、根はどこかで繋がっているようなところがありますものね。



きっかけが市民から盛り上がったイベントだったことが大きいと思います。上から下に拡がっていくものとは違うような気がします。

成瀬 私の所もそうですが「抱きびわ」を、中心となってやってきた人たちが組織を立ち上げられています。今は、小槻さんの所に代表されるように、地域でやっていきましよう、身近な所で支え合うことが良いということが見直されてきました。大きなイベントがなくても小さな所で本当に成果をあげています。ひとつの大きなまとまりではなくても、市民活動として様々なことを考える人が沢山でてきたのではないかと思いますね。

PROFILE

成瀬和子さん

特定非営利活動法人しみんふくし滋賀常務理事兼事務局長。しみんふくし滋賀は「抱きしめてBIWAKO」に参加し、中心になって活動していた人たちが、会員の相互扶助という形で小さな子どもからお年寄りまで、人間としての尊厳を持って暮らせる社会を創ることをめざして設立。現在、保育事業、給食事業（配食サービス含む）、訪問介護事業、居宅介護支援事業に取り組む。先頃、近江八幡のあさんど道商店街でデイサービスセンターを開所。



PROFILE

中山みち代さん

社会福祉法人パレット・ミル常務理事。自立就労センターパレット・ミル所長。障害を持つ人たちの経済的な自立を助けるための施設で、最低賃金保証をめざし始める。最初パレット修理の仕事から始めたため、「パレットミル（工場）」と名付けた。業務内容として、各企業からの受託事業をはじめ、パンなどの食品製造、組ひも加工品、そのほか、無農薬によるブルーベリー栽培などを行っている。

乗れるところが圧倒的に多いのと違うかなという気がしますね。

●ボランティアやNPOに若い人たちが参加するきっかけづくりとしてのイベントというのとはどんな形のものかいいと皆さんは思われますか

中山 「気がつけば福祉」と「抱きびわ」の時に言われたと思うんですが、琵琶湖を抱きしめることは福祉でも何でもなかった。その影に隠れた千円というのが福祉でしたからね。「気がつけば福祉」となるような面白いイベントが必要かなと思うけど、なかなかそれは難しいですね。

小槻 活動とかイベントというのは私物化するものと思っています。だから「皆さんのためにします」というのではなく、自分がやりたいことをどう普遍化するかによって活動の味は決まってくると思います。自分がやりたいと思わないものは人もやりたいと思わないだろうしね。

下から湧き上がっていくためには、求心的に引っ張って、夢を見させてくれる人が必要なんだと思います。

成瀬 市民活動に関わる人にいつも「仕事面白い？」と聞くんですよ。このことが必要だと思う前に、「この活動は面白いな、楽しいな」と思うことができれば、活動も苦にならないと思うんです。

中山 イベントってというのは、沢山の人を動かさないといけないと思うと、しんどいものがあります。自分が心底面白いと思わないと、人に勧めることはできないですよ。一人ひとりの「面白い、楽しい」という思いが多くの人を呼び寄せていくんだと思いますね。

■今日はありがとうございました

きらり輝いています！

●里山の雑木林から集めた落ち葉を肥料にした野菜づくり。



地域でボランティア活動を広めようと奮闘しているあなた、

新たにNPO活動を立ち上げて

琵琶湖のまわりを走りまわっている君、

「淡海」というフィールドで、静かだけど、

どこか「きらり！」と輝いている

ボランティア活動や

市民活動で活躍されている

NPOの皆さんをご紹介します。

幼い時に原体験を持つことが、
里山保全に理解のあるひとづくりにつながっていく

「志賀町の豊かな自然に惹かれここに引越して来ました」やぶこぎ探検隊は、志賀町の豊かな自然に魅了され越して来た若い夫婦三組が中心となり、周りの自然とどうつきあい、理解していくのかと同時に、自分たちがどう楽しんでいくかを目的に一九九七年一月に結成されました。活動二年目には地元地主の協力で里山を借りることができ、「夢の森」と名付けられたその里山に、ヨシ葎きの小屋を

建て、そこを拠点に里山整備や観察会、ネイチャーゲームなどの活動を展開しています。また、里山の再生には山の資源を使うことが大切なことから、落ち葉を堆肥化し「やぶこぎ畑」での自然農法による野菜の栽培をはじめたほか、水辺とのつながりも大切との観点から、びわ湖のヨシ再生プロジェクトにも参加し、柴と間伐材による消波堤づくりに協力しています。

「やぶこぎ探検隊」

は「やぶをこぐように山に入っていくこと」から命名されました。代表の奥敬一さんは独立行政法人森林総合研究所に勤め、「森林風致計画」

が専門の里山保全の専門家。「森林風致計画」とは、里山をはじめとする緑や自然と人との関わりを、風景を楽しめるように、またレクリエーションの場として考える学問です。「子どもの頃虫が好きで、よく昆虫採集で山に行きました。それが原体験として今の仕事につながっているかもしれない」とのこと。「里山は地域の暮らしと結びつきがあり、それぞれに適した手の入れ方があります。その見極めは専門家が、実際の作業は地元住民や市民の協力が不可欠です」

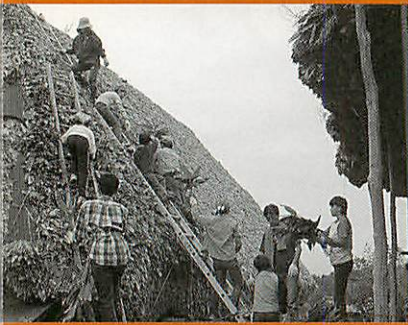
イベントには小さな子どももつれの参加者も多いことから、今後は、自然を身近に体験できふれあえる場をもっと作っていきたいとのこと。幼い時に自然と触れあい、原体験を持つことが、将来、里山保全に理解のあるひとづくりにつながっていきます。

(事務局 川勝六四)

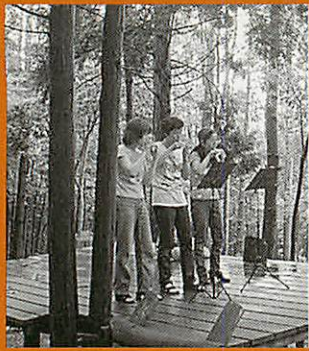
●代表の奥敬一さん



環境 森の学校「やぶこぎ探検隊」



●丹後半島でササ葎き屋根の補修のお手伝いもしている。



●「夢の森」でのオカリナコンサート。

森の学校 「やぶこぎ探検隊」

設立●1997年1月
会員●130人
代表●奥 敬一
連絡先●滋賀郡志賀町八屋戸2217-33
TEL：077-592-2648 (奥) 077-592-1931 (鎌田)
URL：http://www.biwa.ne.jp/~h-nakai/bush1.html

イベントに参加したことがきっかけで、城跡を核にした新しいまちづくり活動がスタート



●「番場の歴史を知り明日を考える会」のみなさん

PTA役員で一緒だった泉会長と酒井事務局長の声をけに有志が賛同し「番場の歴史を知り明日を考える会」が発足しました。

米原町番場地区。古くは中山道の宿場町として栄えたこの地域も、住民の減少や少子高齢化の影響を受け、また、交通網の発達によりかつてのにぎわいは見えなくなっていました。「集落をなんとかしな」。当時地元中学のPTA役員で一緒だった泉会長と酒井事務局長の声をけに有志が賛同し「番場の歴史を知り明日を考える会」が発足しました。

会ですまず取り組んだのは、先祖から受け継いだ文化、地元のことを知ること。地元でも忘れ去られた存在になっていた「鎌刃城」に焦点を当て、勉強会を皮切りに、城跡の整備や町の遺跡発掘調査への協力、城跡でのイベント開催など活動を広げていきました。会の積極的な活動もあり、「鎌刃城跡」は現在、国史跡指定申請を行うまで知られるようになっていきました。

二〇〇二年十一月には県内の城跡保存団体や個人に呼びかけ「近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝」を実施。これは、城跡からのろしを上げ、リレー形式でびわ湖を一周するというもの。第二回目の昨年は二十三城跡が参

加。その企画のユニークさが評価を受け、(財)地域活性化センター主催「第八回ふるさとイベント大賞」文化・交流部門賞」を受賞しました。また、このイベントに参加したことがきっかけで、その地元に城跡を核にした新しいまちづくり活動が起るといふ波及効果も生みましました。

「多くの人が城跡に入ることは里山整備につながります」と会長の泉さん。かつてはひとの暮らした結びついていた里山。今は草木に埋もれた里山の城跡が再び脚光を浴びることによって、人が山に入り、そして里山の整備につながるのとこと。当面の目標は「のろし駅伝を鎌倉まで」伝えることとか。番場で起こったまちづくりの「のろし」が各地に伝わっていきます。

番場の歴史を知り明日を考える会

代表●泉峰一
設立●1992年5月
会員●21人
連絡先●坂田郡米原町番場1982
TEL：0749-54-2101
URL：http://www.biwa.ne.jp/mine-izu

●昨年11月23日に行われたのろし駅伝の様子



福祉 NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター

被害者の思いを受け止めて立ち直るプロセスを支援していききたい

おうみ犯罪被害者支援センターは、二〇〇〇年六月に滋賀県警、県の臨床心理士会、弁護士会、医師会の連携の中で、専門家と市民の協働のもと、被害者の心のサポートを行う市民活動団体として発足しました。

主な事業は電話相談事業で、約一年間の専門訓練を受けた市民ボランティアが、相談電話の受け手となります。二〇〇三年度は一〇七件の相談があり、内容としては性犯罪、DV、セクシャル・ハラスメントに関わる問題が多く、相談者の七〇八割は女性であるとのこと。

何かと物騒な昨今、誰もが犯罪に巻き込まれて、被害者になる可能性があります。犯罪

者は直ちに逮捕され罰せられるべきである、と誰もがそう思うことでしょう。でも被害者にとって、それが全てが清算されたことになるのでしょうか。

「長年、警察行政に携わってきた者として、悪いヤツを懲らしめることが社会を守ることだと思ってきました。しかし、それだけでは被害者は置き去りにされてしまうことに気づ

誰かに言いたい…誰にも言えない…
そんなあなたへ

077-514-1650

相談日：日・水・金曜日13:00～17:00
土曜日10:00～17:00 (年末年始、祝祭日を除く)

NPO法人 おうみ被害者支援センター
Omi Victim Support Center

TEL：077-514-1650
相談日：日・水・金曜日 (13時～17時)
土曜日 (10時～17時)
※年末年始・祝祭日を除く

いたのです」。元警察官の田村優事務局長はこう語ります。「被害者の心をケアする仕事は、社会の中で誰かがしなければなりません」。

●事務局長の田村優さん



性犯罪では特に顕著ですが、被害者の心の苦しみが長期にわたって続きます。心を癒すにはその人自身が心の重荷を捨て、そこから解放される必要があります。想いを率直に話し、それを誰かに受けとめてもらうことで、その人自身が自分の気持ちを立て直すことにつながっていきます。

(編集ボランティア 松田達也)

NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター
代表●野田正人
設立●2000年6月
正会員●企業50社 個人会員250人
連絡先●TEL：077-514-1651

リレーエッセイ

MIFA
日本語のつどい
勝尾 纓美さん



日本語支援ボランティア
をする勝尾さん（右奥）

外国の方への日本語支援ボランティアを始めてもう10年以上。

「なぜそんな長く活動ができるのか。それを支えているものは何？」活動を始めて間もない、少しくじけそうになっている仲間からの問いかけでした。

日本語を教えるということはそんなに容易なことではありません。生徒さんの「ありがとう」という言葉だけに支えられています。

そして、言葉以外に日本語教室から見えてくるものが、たとえば外国人の就労、その子ども達の教育…の問題など、一つ一つは個々の問題であっても、あまりに大きいことに気付かされます。そしてそれが自分自身や社会を見つめなおす大きな端緒になっています。

一人でも多くの人に「ありがとう」と言ってもらえる、信頼される日本語教室を目指しています。

「ありがとう」の言葉に支えられ…

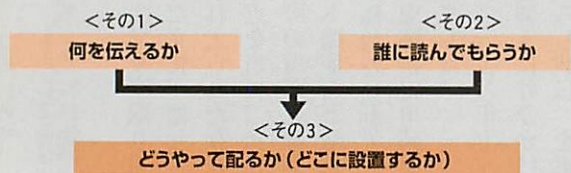
次回は朗読グループ「草笛」の池本千幸さんです。

てみましょう。実際に情報を流す形はできたものの、これをどうやって多くの人に見てもらおうか。情報づくりはこの伝達手段が大事になってきます。

有料媒体はこの伝達のところでお金がかかるわけですから。つまり伝達する相手（購読者数、視聴率）が確保されているから有料は当然と考えて下さい。

ペーパーでお金を使わずに情報を発信する方法はというと、多くの場合がフリーペーパーという位置付けになります。フリーペーパーは、読んでもらいたいターゲットの集まる場所に設置してもらう、または配布するといった形が主になってきます。

つまり、情報発信は単にその情報媒体を作るだけでは意味がなく、どうやってその情報を欲しがっている人に伝えるかまで考えて発信しなければ、コミュニティー誌を作ったことにはならないということを頭において情報発信してください。

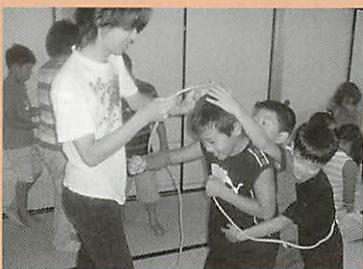


※ホームページの場合はこのサーバーにUPするか。作りっぱなしでは誰も見てくれません。

※次号からは実際の情報誌作りに入っていきます。まずは、情報誌の作成「編集内容を決める」についてです。

や福祉施設のスタッフが集り、10月に向け展示会を準備中です。

近江八幡の町並み保存地区にある昭和初期の町屋（野間邸）をバリアフリーに改装して、ギャラリーにする計画が近江八幡市の仲



▲地域の子ども達が参加したアートワークショップ

立ちで具体化し、福祉現場のスタッフはもちろん、芸術関係者、学術研究者、地元の伝統的建造物保存活動に携わる方々が協力し開設にこぎ着けました。長年暮らしを見守り続けていた古い家屋の記憶と、新しいアートとが絶妙の調和を奏でています。2階の広縁は喫茶コーナーになっていて、地元の「社会就労センターいきいき」の方がスタッフを務め、観光物産協会の協力により観光ボランティアの方が案内して下さいます。ふらっと気軽に寄れる町中にあるギャラリーNO-MAは、既成の概念や枠組みを超えて人と人をつないでいく新しいアート発信基地としての活躍が期待されます。

【問】ギャラリーNO-MA（滋賀県社会福祉事業団）
TEL. & FAX.0748-36-5018
【DATA】滋賀県近江八幡市永原町上
16/11時～18時/月曜休/開設記念展400円】

スローグッズ探検隊

NPO団体が開発した人や自然にやさしい商品をご紹介します!

勝手に京阪いっさか線学会CD
「いっさか線ぶるーす」



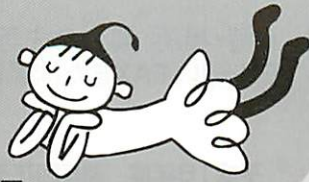
「いっさか線」の愛称で親しまれてきた、京阪電鉄石坂線を“勝手に”応援しようと結成されたのが、勝手に京阪いっさか線学会。赤字路線を応援してまちづくりをすすめようと、電車内でまちづくりに関する会議を行う「でんしゃ

で会議」やおでんを食べながら大津市街を走る「おでん電車」など、私鉄電車の良さを見直すユニークなイベントを展開してきました。そしてこの夏、いっさか線学会の会員でもある、俳優でシンガーソングライターのOGG（本名・橋本一司）さんが京阪石坂線への愛着を歌った「いっさか線ブルース」を発表、CDが発売されました。子どものころに見た車窓からの風景や思い出を盛り込みながら石坂線への愛情を歌い込んでいます。また、CDには、レールがきしむ音や今では聞けない車掌の肉声アナウンスも約20分間挿入するなど、石坂線ファンにとっては見逃せない内容になっています。

【問】勝手に京阪いっさか線学会
TEL & FAX：077-525-4290

がんばれ!NPO 応援団

市民活動を元気にする情報コーナー



おらみネット講座

心の通う情報誌づくり

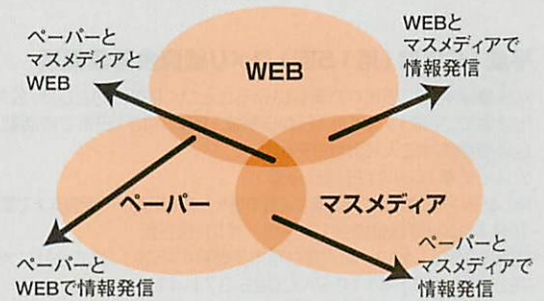
市民活動の情報発信のためのアドバイス。
★ご意見、ご質問を受け付けています。

【VOL.2 伝達方法を明確に】

■メディアミックスで情報発信

前回【VOL.2 情報を伝える方法は？】では、情報を伝えるには5つの方法<ペーパー・テレビ・ラジオ・インターネットホームページ・携帯電話>があるということをお話しました。では、私たちが情報発信するとき、伝達方法として何が一番いいのでしょうか。すでに現在、インターネットや携帯電話での情報発信が主流になりつつあります。前回でも取りあげましたが、WEB情報の場合、ユーザー側（情報の受取手）にハードウェアがないと伝達できないという問題点があります。より多くの人に伝達するためには、情報発信手段は一つの方法に拘らず、メディアミックス（ペーパー&マスメディア&WEB）で

様々な媒体を使い、情報発信していく必要があります。



■情報入手は生活スタイルで変わる

今や有効な情報発信媒体はテレビや新聞だけではなく、インターネットホームページや携帯電話情報とマスメディアの枠を越えています。情報源がテレビやラジオ、新聞や雑誌などのペーパーだけの時代では、その媒体を見る人、読む人にターゲットをおき、年齢別、性別のひとくくりで判断されてきましたが、WEBでの情報発信がプラスされた現代は、いつでもどこでも情報が手にはいることが可能になってきています。つまり、今後は個々の生活スタイルで情報を受け取る手段が違うということをお頭に置き、誌面を作っていく必要があります。

■情報媒体を作るだけでは意味がない

では、皆さんが作られるペーパーでの情報発信を考え

めとてとコラボ

市民と行政、市民と企業などの、新しい市民協働（パートナーシップ）のカタチを紹介します。

古い町なかで気軽に立寄れるギャラリーを通して 障害者アートの枠を超え、人と人をつなぎたい

.....ボードレス・アートギャラリーNO-MA



▲ギャラリー担当の錦織真奈美さん



▲「私あるいは私〜静かなる燃焼系〜」展（～9/20）

障害を持つ人の芸術作品を特別扱いするのではなく、ごく普通にアートとして紹介しようと「ボードレス・アートギャラリーNO-MA」が7月にオープン。現在、開設記念企画展「私あるいは私〜静かなる燃焼系〜」を開催中です。正規の美術教育を受けていない人々の作品が「アウトサイダー・アート」展として12年前、世田谷美術館で開催され、徐々に注目されるようになりました。滋賀県では、戦後まもない頃から多くの障害者施設で粘土による造形活動



▲唐崎やよい作業所の佐藤良平さんが描いた看板



▲喫茶スタッフの安田さん・山岡さん。コーヒー250円。

が行われてきたのです。

今回出品した伊藤喜彦さんもその一人で、30年余信楽青年寮で“鬼”などをテーマにエネルギーに創作活動に打ち込んできました。どの作品も「障害者の・・・」とカッコ付きで見るのでなく、作品そのものからあふれる圧倒的なパワーと滲み出る優しさが感性に語りかけてきます。その他、国内外で活躍する芸術家の作品が、いわゆるボードレスに集められています。企画者は西宮市の知的障害者施設でボランティアで絵の教室を主宰する絵本作家のはたよしこさんで、滋賀県社会福祉事業団のアート・ディレクターを担当しています。現在、県内10ヶ所の共同作業所

11月・12月の掲示板 情報募集中!

日時・場所・問合せ先等を明記の上、10月8日までにEメール、FAXまたは郵便でセンターまでお寄せください。

平成16年度(第15回)コメリ緑資金募集要項

- 対象●緑や花に囲まれた美しいふさとづくりを目的とした、公共性のある緑化活動で、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの活動。ただし助成金の贈呈先は法人・団体に限る。
- 公募期間●10月31日(日)必着
- 申し込み方法●所定の申込書に必要事項をのり記入し、下記宛先まで郵送して下さい。
- 【問】「コメリ緑資金の会」事務局 早川・長谷部
- 住所:〒950-1492 新潟県白根市茨曾根4453-1 株式会社コメリ事業本部内
- TEL:025-371-4112 FAX:025-371-4151
- e-mail:midori@komeri.bit.or.jp URL:http://www.komeri.bit.or.jp/japanese/public/public01_boshu.htm

財団法人ヨネックススポーツ振興財団 助成金

- 対象団体● 青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつ3年以上継続して活動している、次の要件を満たした団体
- (1) 民法第34条の規定により設立された社団法人及び財団法人
- (2) 上記以外の団体で、次の要件を備える団体
- 1. 定款、寄附行為またはそれらと同等の規約があること。
- 2. 団体の意志を決定し、執行する組織が確立していること。
- 3. 経理処理能力があり、監査する等の会計組織をもっていること。
- 4. 団体活動の本拠としての事務所をもっていること。
- 申請期限●9月30日(木) 交付決定●10月29日(金)
- 【問】(財)ヨネックススポーツ振興財団事務局
- 住所:〒113-8543 東京都文京区湯島3-23-13
- TEL:03-3839-7195 FAX:03-3839-7196
- URL:http://www.yonex.co.jp/zaidan.html

大和証券福祉財団 第11回(平成16年度)ボランティア活動等助成

- 応募資格●ボランティア活動を目的とした団体・グループ(申込みに際しては、社会福祉協議会・学校・病院等の推薦を受けて下さい)
- 応募課題●特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動
- 応募期間●9月15日(水)当日消印有効
- 【問】(財)大和証券福祉財団
- 住所:〒103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル
- TEL:03-3665-5147 FAX:03-3662-0495
- URL:http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf_info2004.html#1

ザ・ボディショップ・ニッポン基金2004年度助成

- 対象●人権擁護、または環境保全にかかわる活動。化粧品・トイレタリー製品における動物実験の反対や、絶滅の危機に瀕する動物保護など、動物にかかわる活動。
- 応募資格●申請する活動を継続的に行なっている団体、または個人。
- 応募期間●9月14日(火)まで 当日消印有効
- 【問】(株)イオンフォレスト ザ・ボディショップ ニッポン基金事務局
- 住所:〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル4F
- TEL:03-5215-6126 FAX:03-5215-6136
- http://www.the-body-shop.co.jp/about/body_kikin04.html

平成16年度 第5回花王・みんなの森づくり活動助成

- 内容●緑や自然とのふれあいは、子供たちの豊かな心を育み、人々に安らぎをあたえます。当財団が推進する「花王・みんなの森づくり」では、生活の身近な場所に緑豊かな環境を創造することを目的として、緑を守り育てる住民活動を支援します。
- 応募条件●活動の対象となる土地の所有形態は問いませんが、団体の所有地以外での活動を予定している場合には、助成対象となる活動(樹木の植栽が伴う場合には、植栽される樹木の財産としての帰属を含む)について、土地所有者からの許可等が得られる見通しがあることとします。他の助成団体(地方公共団体、地方都市緑化基金等)による助成との併用は可とします。参加者募集の案内や報告書作成等の際には、本助成の支援を受けていることを明示することとします。
- 応募方法●助成は、既に緑を守り育てる活動(森づくりの活動)に取り組んでいる団体を対象とした「プロジェクト助成」とこれから緑を守り育てる活動(森づくりの活動)に取り組もうとする団体や設立後1年未満の森づくりの活動に取り組んでいる団体を対象とした「スタートアップ助成」の2つのタイプに分かれていますので、該当する助成にご応募下さい。「花王・みんなの森づくり活動助成」プロジェクト申請書もしくはスタートアップ助成申請書に必要事項をご記入の上、活動場所位置図及び活動場所現況写真他の資料を添付し、下記へご送付下さい。
- 申込み期間●11月1日(月)まで(当日消印有効)
- ※応募要項及び各申請書は、下記へご請求下さい。
- 【問】(財)都市緑化基金「花王・みんなの森づくり活動助成」係
- 住所:〒102-0083東京都千代田区麹町1-6 相互麹町第二ビル8F
- e-mail: mail@urban-green.or.jp
- URL:http://www.urban-green.or.jp/

滋賀会館シネマホール 9月の上映予定

「カレンダー・ガールズ」

9月15日(水)~17日(金) 10:10~/14:20~
9月18日(土)~20日(月) 12:10~

「幸せになるためのイタリア語講座」

9月8日(水)~12日(日) 15:00~/19:15~
9月15日(水)~17日(金) 12:10~

「スキャンダル」

9月22日(水)~26日(日) 10:10~/18:45~
9月28日(火)~10月3日(日) 10:45~/14:50~

◆第1回「シネファンク・シネマ塾」開催!

9月26日(日) 15:15~
ゲスト:中江裕司監督「人とまちと映画をつなぐ」
16:30~「ナビの恋」上映
18:20~「琉球の魂を唄う」上映

◆リクエスト受付中!

上映してほしい作品名と住所、氏名、電話番号を記入の上、ハガキ、ファックス、または電子メールで淡海ネットワークセンターまでお送り下さい。
・各回入替制 ・上映時間・料金はお問い合わせ下さい。
TEL:077-522-6191 滋賀会館シネマホール

口コミ交差点

●イベント参加報告●勝手に京阪いっさか線学会「電車でBeer」

7月3日、「勝手に京阪いっさか線学会」が主催した「電車でBeer」に参加しました。

「いっさか線」とは、石山寺駅と坂本駅の間を結ぶ全長14.1kmの京阪電車石山坂本線のことです。短い路線ですが、沿線には石山寺、義仲寺、三井寺、琵琶湖疏水、近江神宮、日吉大社、比叡山延暦寺など歴史遺産が非常に豊富で、また、高校が多いため、通学時間帯は非常に賑やかで、市民の身近な足として長年親しまれてきました。しかし、最近では利用客数が減少しているため、車掌さんなしのワンマン運転になるなど、経営効率化がすすめられています。

そんな「いっさか線」を辛口に応援しようと活動しているのが「勝手に京阪いっさか線学会」です。今回の「電車でBeer」は、冬に行われた「おでん電車」に続いての企画。当日は

車両を借り切り、車内にビールサーバーが備えられ、ライブ演奏あり、大抽選会ありと大盛り上がりでした。ライブ演奏では、地元出身の役者でシンガーソングライターのOGGさんが、いっさか線愛歌「いっさか線ぶる〜す」を歌い上げます。また、乗り合わせた初対面の人たちと話しをしたり、楽しい時を過ごすことができました。



「いっさか線」が人々に愛されていることをとても感じましたし、今後も変わらず活躍できるよう利用者のひとりとして応援したいと思います。(事務局 笹山衣理)



行って来て見て 情報BOX 9・10月

イベント

「琵琶湖を戻す会」 琵琶湖環境保全つり大会開催

▶ 9月12日(日)10:00~16:00 雨天決行
内容●琵琶湖にてブラックバス・ブルーギルなど外来魚の駆除
※自由参加・自由解散
参加費●大人200円、子ども100円(保険料等の実費)
総合受付●草津市志那中公園
駆除方法●エサ釣り
持ち物●釣り道具(特に釣り竿・魚を入れる容器)は出来るだけ各自でご準備下さい。ただし、餌・仕掛けについては無料でお分けいたします。また若干数ではありますが、竿を無料レンタルいたします。
※昼食は各自ご持参下さい。(会場周辺にコンビニはあります)
※会場にゴミ箱はありませんので、必ずゴミは各自でお持ち帰り下さい。
URL:http://homepage2.nifty.com/mugitaku/2004-09-12/2004-09-12a.html

ビデオシアター

▶ 9月18日(土)「河」(台湾 1997)
①10:00~ ②14:00~
会場●男女共同参画センター
参加費●入場無料
※託児ご希望の方は2日前までに託児専用電話へご連絡ください。
(TEL:0748-37-1331)
【問】男女共同参画センター
電話0748-37-3751

ネイチャーゲームをやって 家族で遊ぼう

▶ 10月17日(日)10:00~14:30
内容●ネイチャーゲームをやって遊びます。クラフトを作っておみやげにします。
場所●皇子が丘公園(大津市)
参加費●大人400円 子ども300円
【問】びわこネイチャーゲームの会
TEL:077-579-6659(辻田)

龍谷大学第82回龍谷祭

▶ 10月30日(土)31日(日)
テーマ●Piece
場所●龍谷大学・瀬田キャンパス(JR琵琶湖線・瀬田駅下車、バスで5分)
◎フリーマーケット情報
日程●両日とも開催 11:00~17:00(予定)
募集●100店舗
◎ゲストライブ
日程●10月30日(土)時間未定
ゲスト●未定
会場●瀬田大学内瀬田ドーム
料金●無料
◎エンディングイベント
日程●10月31日(日)17:45~19:30
内容●チャ、龍の舞、ダンス、ビンゴ大会
【問】龍谷祭実行委員会
TEL/FAX:077-543-7787(直通)

奥びわこ秋のグリーンツールズム 「山門水源の森と湖北の味覚体験ツアー」

▶ 10月20日(水)~21日(木)(1泊2日)
参加費●16,500円
募集定員●25名
申込締切●10月9日(土)
主催●山びこ-net事務局・滋賀県林務緑政課内
TEL:077-528-3915
URL:http://www.biwa.ne.jp/forest-m/
【問】西浅井町体験宿泊施設レントラ
TEL:0749-89-0350

「つなぐことば つながる心」 オリープ10周年記念イベント

▶ 10月31日(日)11:00~17:00
場所●草津市立まちづくりセンター
内容●日本語スピーチ大会、交流パーティー
参加費●小中学生500円 一般1,000円
※手作り料理を持ってくれば参加費は無料
スピーチ大会のみは無料
【問】オリープ
TEL:077-565-9215(恩地)

勉強会・交流会

『第5回 環境教育わはは指導体験会』 ~なかまを通じて、自分が見えてくる~

▶ 9月18日(土)10:00~19日(日)16:30(予定)
場所●県立荒神山少年自然の家(彦根市日夏町4794)
対象●環境教育に興味のある人、環境教育を行いたいけど自信がない人 いろんな人の指導を見てみたい人、などなたでもオッケーです。
定員●10名(うち指導体験希望者8名まで)
参加費●一般5,000円、学生4,500円(宿泊費・食費・保険代・プログラム費・通信費等)
申込●9月10日(金)までに、E-mailまたはTEL/FAXで、①名前(ふりがな)②生年月日③性別④所属 ⑤住所⑥電話番号⑦メールアドレス⑧指導を希望するかなしなにかを下記連絡先にご連絡ください。詳細は、下記HPまたはお問い合わせください。
【問】わのたね(担当:三井)
TEL/FAX:0748-42-3699
URL:http://www.geocities.com.jp/NatureLand-Sky/3646/wahaha/wahaha5th.htm

第16回医をめぐる勉強会

▶ 9月12日(日)13:30~16:30
内容●「セカンドオピニオンと患者学」
講師●磯崎健一氏 がん患者サポーター、ジャーナリスト
※当会は医療に関する様々な知識を得て、考えを深める勉強会です。どなたでも参加できますのでおいでを待ちしています。
場所●大津市生涯学習センター
会費●会員500円 非会員1,000円(当日参加、入会可)
【問】医をめぐる勉強会 中島
TEL:0748-83-0924
URL:http://www.5a.biglobe.ne.jp/y-kaze/imegurur.htm

滋賀医科大学「健康教育学習会」

▶ 10月7日(木)13:30~
場所●草津市立まちづくりセンター
演題●「睡眠や気分の変化と上手につきあう方法」
講師●滋賀医科大学医学部付属病院 精神科神経科・医師 尾関 祐二
定員●各回約50名(定員になり次第締め切り)
【問】滋賀医科大学教務部学生課健康教育学習会担当
TEL:077-548-2142 FAX:077-548-2799

「登校拒否・不登校を 考える大津・湖南交流会」

▶ 9月25日(土)14:00~17:00
場所●教育文化会館(大津市朝日が丘1-11-3)
※JR大津駅から国道をこえて山側へ徒歩5分
内容●お話し「進路と自立~親の思い、子どもの思い」
講師●福本早穂さん(親子支援ネットワーク「あんだんて」代表)
参加費●300円 ※事前申込み不要
【問】登校拒否・不登校を考える大津・湖南交流会
TEL:090-7762-9431(山田)

幕内秀夫氏講演会

「じょうぶな子どもを育てる食生活」
▶ 10月24日(日)14:00~
内容●アトピー性皮膚炎やぜんそくの急増、肥満や虫歯、生活習慣病の低年齢化。現代の病める子どもたちの健康を守るカギは日本の伝統食にあった!離乳食から学校給食まで毎日に食生活を見直してみませんか?
場所●市民交流プラザ(JR南草津駅前フェリエ南草津5F)
参加費●前売800円 当日1,000円
【問】学校給食と子どもの健康を考える会滋賀支部
TEL/FAX:077-563-6701(井上)
e-mail:saori-watanabe@mx.scn.tv

参加者募集

中国語教室開催のお知らせ

▶ 毎月第1・3火曜日 20:00~21:30
場所●近江八幡市武佐公民館
参加費●2,000円/月
※初級コース7月から始めています。いつでも参加可能です。
【問】近江八幡中国語研究会
TEL:0748-33-5775(小栗)

森林・林業体験のご案内

内容●造林公社では皆さんに少しでも森林に関わっていただきたく、森林・林業体験を行っています。
☆11月20日(土)秦荘町斧磨
申込締切:10月20日(水)
☆2月19日(土)甲南町塩野
申込締切:1月20日(木)
募集人員●各回30人
※詳しくはお問い合わせください。
【問】琵琶湖・淀川水源の森林づくりネット
TEL:077-522-8349(びわ湖造林公社内)
URL:http://www.morimoribiwako.com

助成金情報

財団法人ポーラ 伝統文化振興財団助成事業

対象分野●伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能及び行事など、日本の無形の伝統文化財の記録や研究、保存・伝承活動において、有効な成果が期待できる事業
資格●[1]個人、団体のいずれも申請可(但し個人、一団体に付き一件に限る)[2]団体の場合、法人格の有無は問わない。但し、永続性のある事を原則とする。[3]営利を目的とし、あるいはその結果が直接営利に結びつくような事業は対象外とする。
応募方法●所定の申請用紙に必要事項を記入の上財団事務局宛に書留にて送付のこと。
応募期間●助成を受けようとする事業年度の前年4月1日~10月31日[当日消印有効]まで。
【問】(財)ポーラ伝統文化振興財団
住所:〒104-0061 東京都中央区銀座1-7-7
TEL:03-3561-7408 FAX:03-3561-7480
URL:http://www.polaculture.jp/top.html

大阪ガスグループ福祉財団 高齢者福祉助成・調査研究助成事業

対象●(1)高齢者を対象とする地域福祉活動や高齢者の社会参加支援活動で、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、神戸市の社会福祉協議会の推薦を受けた活動(2)現場で実際に汗を流して活動されているボランティア団体等の活動を歓迎。例えば、高齢者を地域住民が皆で支え合おうとする活動、高齢者の社会参加を支援する活動など(3)次のものは対象除外とします。平成14、15年度に本助成を受けたグループ・団体、活動実績のない団体。介護保険事業など公的支援のある事業。娯楽的・同好会的費用、活動拠点の経費や人件費など。なお、車両購入や給食サービス用の厨房機器類の購入、あるいは老人福祉施設を拠点に行う地域福祉活動に対する助成は、必要性、効果等を勘案の上、厳選します。
応募方法 ●申込書(A4両面)に必要事項を記入・捺印の上、添付書類とともに滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、神戸市の社会福祉協議会へ提出してください。ご提出いただいた書類等は返却できません。
応募期間●9月15日(水)厳守
【問】大阪ガスグループ福祉財団
住所:〒541-0046
大阪市中央区平野町4丁目1-2
大阪ガス本社ビル内
TEL:06-6205-4686
FAX:06-6203-1028
URL:http://www.osakagas.co.jp/com-s/htm/welfare.htm



第3回 (2005年) おうみNPO活動基金助成募集

◆趣旨

資金面等での基盤強化を図り、NPOが経営力を高められるよう「おうみNPO活動基金」(以下「基金」という。)を創設し、NPOに対する助成事業を実施します。

◆助成対象者

次のすべてに該当する特定非営利活動法人または特定非営利活動法人に準ずる団体(以下「NPO」という)を助成対象とします。

- (1) 滋賀県内に活動拠点または事務所を有すること
 - (2) 原則として継続的な活動が期待できるものであること
- ※特定非営利活動法人に準ずる団体とは、特定非営利活動促進法別表に掲げる活動を行う団体(任意団体を含む)で、定款、規約等を持ち、組織として意思決定ができるものをいいます。

◆助成対象事業

次のすべてに該当する事業とします。

- (1) 不特定多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする事業
- (2) 非営利の事業
- (3) NPOが自主的に取り組む事業
- (4) 次のいずれにも該当しない事業
 - ① 宗教活動および政治活動
 - ② 特定の公職者(候補者を含む)または政党を推薦、支持、反対することを目的とする事業

◆助成額と助成期間

- (1) 1つのNPOに対する助成額は、年間50万円から300万円までとします。
- (2) 助成期間は、2005年1月から2005年12月までの1年間とします。ただし、継続助成を受けたい場合には、3年間、総額600万円を限度に継続申請することができます。
- (3) 採択団体に対し必要に応じて事業サポート委員会(チーフ:石井布紀子、委員:阿部圭宏、堤 幸一)によるサポートを行います。

◆申請方法

- (1) 所定の申請書に必要事項を記入の上、淡海ネットワークセンターへ持参するか、簡易書留で郵送してください。(ファックス、Eメールは受理しません。)
- (2) 申請書は淡海ネットワークセンターに

直接請求してください。ホームページからのダウンロードもできます。また、説明会のときにお渡しします。

(3) 申請書には、次の書類を添付してください。

- ① 定款、規約、会則など、NPOの組織運営の分かるもの
- ② 役員名簿、またはそれに準ずるもの
- ③ 直近の事業報告書と決算書類(立ち上げばかりのNPOは事業計画書と予算書)
- ④ NPOの活動状況が分かるパンフレット、ニュースレター、写真など(任意)

(4) 助成NPOがセンターに提出する書類は、原則として公開されます。助成NPOも積極的な情報公開に努めてください。

◆募集説明会など

下記のとおり、開催しますので参加してください。なお、募集説明会に参加できない場合は個別に対応しますので、ご連絡ください。

- 募集説明会/9月12日(日)10:30~12:00
県立県民交流センター204会議室
- 2004年採択団体中間報告会/
9月12日(日)13:00~17:30
県立県民交流センター204会議室
- 募集説明会、連続採択団体サロン/
9月18日(土)13:30~16:30
米原町中央公民館3-A研修室

◆助成申請受付期間

2004年9月1日(水)~10月15日(金)17時まで必着

※郵送の場合は10月15日消印有効

【問】淡海ネットワークセンター(財団法人淡海文化振興財団)
〒520-0801 大津市におの浜1-1-20
e-mail: ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

おうみ未来塾5期生 グループ研究中間発表会開催

日時: 10月10日(日)午後
場所: ふれあいプラザ(明日都浜大津5F)
※一般の方も参加できます。
詳しくはセンターまでお問い合わせください。

「おうみネット」編集ボランティア募集

淡海ネットワークセンターでは、2ヶ月に1度「おうみネット」を発行しています。多くの人の声を大切に、皆さんに親しまれる市民活動・NPO情報誌を目指しています。好奇心旺盛で、記事を書くことが好きなこと以外は、特にむずかしい条件はありません。ぜひ皆さんのお力をお貸しください。やってみようかなと思われる方は、下記事項を記入いただき、センターまでご連絡ください。なお、FAXまたはメールをお持ちの方に限らせていただきます。

- ①お名前 ②住所 ③メールアドレス ④電話・FAX番号 ⑤所属団体(あれば) ⑥興味分野

【内容】取材ボランティア
県内のいろいろな団体取材し、その活動内容を記事にして「おうみネット」で紹介していただきます。また、編集ボランティア会議(奇数月初開催)にも出席いただけます。(取材および編集ボランティア会議にかかる交通費は支給)

編集後記

犯人を罰すれば被害者が救われるわけではない。それだけでは被害者は置き去りにされている。振り返ってみて、事柄の当事者が置き去りにされていることは他にも色々あることに気が付かされたように思います。その点では市民活動とは職場や地域にある「顛倒」に挑むことといえるかもしれません。
(編集ボランティア 松田)

福祉施設での一日介護体験研修の機会があった。某デイサービスセンターで送迎車の迎えから始まり、スーパーでの買い物や入浴の手伝いなど一連のメニューを経験させていただいた。今回の研修で「自分の生きがいを見つけることができた」とまではいかなくても、会社人間一辺倒の生活からもう一度自分を取り戻すことを考えるきっかけとなったことは確かである。会社の肩書きを外したところで、自分の生きがいがあり、自分の仲間がいるという生活スタイルを築きたいものだ。定年後は「濡れ落ち葉」などといわせない、豊かな人生を今から準備することで、むしろ働いていたとき以上の、楽しくて生きがいのある人生をおくりたいものである。
(事務局 山田)

11月号のアンケート

アンケートにご回答いただける方は、性別・年齢をご記入の上、ハガキ、ファックスまたは電子メールで下記までご送付ください。住所・氏名をご記入いただいた方には抽選で粗品をプレゼントいたします。アンケート締切:11月末日

Q1/あなたは年に何回コンサートや芝居を観ますか?

a.0回 b.年に1~2回 c.年に3~5回 d.それ以上

Q2/利用する主なホールはどこですか?

a.県立ホール b.市町立ホール c.民間ギャラリー d.県外施設

Q3/県内のホールでもっと力を入れてほしい催しは?

a.クラシック b.ジャズ&ポップス c.ミュージカル d.演劇 e.演芸&古典 f.その他

Q4/新しいホールの役割として、一番期待することは?

a.生涯学習の場 b.子どもの芸術鑑賞 c.市民サポーターの導入 d.市民グループへの開放 e.その他

Q5/もっと文化や芸術に触れるためにはどうしたらいいと思いますか?



淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20
■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442
■http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net
■E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29~1/3を除く)
火~金曜日/9:00~19:00 土・日曜日、祝日/9:00~17:00

●淡海ネットワークセンターの情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。
+各地域振興局、県内図書室、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、さくらホール、滋賀銀行、滋賀県信用組合、郵便局(ボランティア貯金窓口)、公民館など



©無断転載を固くお断りします。

